

病害虫発生予察情報

平成30年度 病害虫発生予察情報(美濃地域) 8月予報

【水稲】

斑点米カメムシ類

7月中旬の一斉調査では、イネ科が優先する畦畔やヒエなどのイネ科雑草が出穂している水田内で本虫が散見され、特に中濃および東濃地域では斑点米生成能力が高い大型のホソハリカメムシなどが多く確認されています。また、岐阜・西濃地域及び東濃地域に設置した予察灯ではアカヒゲホソミドリカスミカメの累計誘殺数は多く推移しています。

水稲の出穂直前および出穂後の畦畔除草は、本虫を水田内に追い込む恐れがあるため、出穂10日前までに実施するとともに、水田内のヒエ類等は、出穂前に確実に除去してください。

【果樹類】

果樹カメムシ類 * 病害虫発生予察注意報第1号 (H30.5.31付) 発表

フェロモントラップへの誘殺数は岐阜・西濃地域で、予察灯への誘殺数は岐阜・西濃及び中濃地域で、平年より多く推移しています。今後、新世代が発生し、山林等でスギやヒノキ球果などのエサ不足になると果樹園などに飛来する可能性があるため、十分な注意が必要です。ほ場に飛来が確認された場合は直ちに防除を実施してください。

【野菜類】

コナジラミ類

トマト定植前の施設周辺屋外において黄色粘着版のコナジラミ類誘殺数は、7月1～4半旬までの累計352.4頭(平均146.7頭)と平年よりも多く推移しています。防虫ネット等の隙間や破れを補修し、施設内への侵入防止対策を徹底してください。

○主な病害虫の発生時期及び防除時期(8月)

| 病害虫名 (防除適期) | 生育状況 発生量 | 発生時期及び防除適期 | | | | | | 防除上の注意事項 |
|-----------------|-------------|--|----|----|----|----|----|--|
| | | 1旬 | 2旬 | 3旬 | 4旬 | 5旬 | 6旬 | |
| 生育(ハツシモ) | 並 | | | | | | | ・7/13 調査(6/11 田植：農業技術センター) |
| 生育(コシヒカリ) | 並 | ＜ 出 穂 ＞ | | | | | | ・7/13 調査(5/10 田植：農業技術センター) |
| 穂 い も ち | やや少 | 初 発 生 (出 穂 以 降) | | | | | | ・穂いもち 穂ばらみ期～穂ぞろい期に防除を実施する。 |
| 紋 枯 病 | 並 | ＜ 発 生 最 盛 期 ＞ | | | | | | ・紋枯病 発生を確認したら薬剤防除を実施する。 |
| ニ カ メ イ ガ | やや少 | ＜ 第1世代成虫 ＞ | | | | | | ・セジロウカ 8月上旬に株当たり幼虫が5頭以上いる場合は防除を実施する。 |
| セ ジ ロ ウ ン カ | やや少 | ＜ 第2世代幼虫 ＞ | | | | | | ・斑点米カメムシ類 ジノテフラン粒剤による防除は出穂7～10日後に散布するのが効果的である。 |
| ト ビ イ ロ ウ ン カ | 少 | ＜ 第2世代成虫 ＞ | | | | | | |
| ツ マ グ ロ ヨ コ バ イ | やや少 | ＜ 第3世代幼虫 ＞ | | | | | | |
| 斑点米カメムシ類 | やや多 | 本 田 へ の 侵 入 (出 穂 以 降) | | | | | | |
| 防 除 適 期 | | 穂いもち・紋枯病：穂ばらみ～穂ぞろい期に同時防除を実施する。 斑点米カメムシ類：散布剤による防除では、穂揃期およびその7～10日後の2回を基本とする。 ▲ニカメイガ | | | | | | |
| 大 豆 | 並 | ＜ 発 生 量 増 加 ＞ | | | | | | ・ハスモンヨトウ 発生に応じて防除を実施する。 |
| 防 除 適 期 | | | | | | | | |
| 岐 阜 西 濃 中 濃 | 並 少 | ＜ 第2世代幼虫 ＞ | | | | | | ・ハマキムシ類 幼虫発生初期の防除を徹底する。 |
| カキノヘタムシガ | やや少 | ＜ 第2世代幼虫 ＞ | | | | | | ・カキノヘタムシガ・第1世代成虫 発蛾最盛期 7/16 (平年 7/20：岐阜市) |
| 防 除 適 期 | | ▲ハマキムシ類 ～ ▲カキノヘタムシガ | | | | | | |
| 灰 星 病 | 少 | ＜ 果 実 発 病 最 盛 期 ＞ | | | | | | ・灰星病 本病は収穫後の市場病害として問題となるため、収穫前に予防防除を必ず実施する。 |
| ナシヒメシンクイ | 並 | ＜ 第3世代幼虫 ＞ | | | | | | |
| 防 除 適 期 | | | | | | | | |
| 果 樹 | 多 | ＜ 主 に 新 世 代 成 虫 ＞ | | | | | | ・果樹カメムシ類 飛来が認められる場合は直ちに防除を実施する。 |
| 防 除 適 期 | | | | | | | | |
| 岐 阜 西 濃 中 濃 | 多 やや少 | ＜ 第3世代幼虫 ＞ | | | | | | ・ハマキムシ類 幼虫発生初期の防除を徹底する。 |
| 防 除 適 期 | | ▲ハマキムシ類(岐阜西濃) ▲ハマキムシ類(中濃) | | | | | | |

| | 病害虫名 (防除適期) | 生育状況 発生量 | 発生時期及び防除適期 | | | | | | 防除上の注意事項 |
|---------------|----------------|-------------|------------|-----|---------|-----|-----|-----|--|
| | | | 1 旬 | 2 旬 | 3 旬 | 4 旬 | 5 旬 | 6 旬 | |
| 野菜 ・ 花き | 灰色かび病 | やや少 | | | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・同一系統薬剤の連用は避ける（薬剤耐性および抵抗性の発達）。 ・<u>灰色かび病</u> 花ガラや葉先枯れは感染源となるため取り除く。 ・<u>ハコガ</u>類 幼虫は新梢の隙間や花蕾内に生息するため、十分量の薬液を丁寧に散布する。 ・<u>コナジラミ</u>類 冬春トマトでは黄化葉巻病の感染防止のため、育苗時のタバココナジラミ対策を徹底する。 |
| | ハスモンヨトウ | やや多 | | | < 発生量増加 | | | | |
| | タバコガ類 | 並 | | | < 発生量増加 | | | | |
| | コナジラミ類 | 多 | | | | | | | |
| | アザミウマ類 | 少 | | | | | | | |
| | ハダニ類 | 少 | | | | | | | |
| | 防除適期 | | | | | | | | |

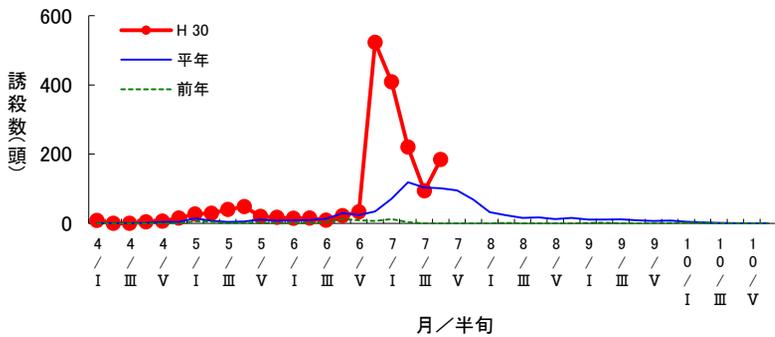
注1) ▲、▲～▲：防除適期

注2) 美濃地域は岐阜、西濃、中濃および東濃地域

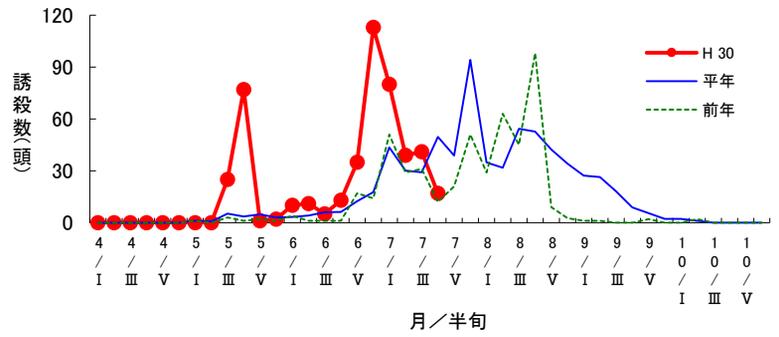
注3) 用語の定義及び基準については「発生予察事業の調査実施基準」に準ずる

果樹カメムシ類

8月は一般的に夜温や湿度が高く、風の弱い日が多くなるため、果樹カメムシ類の飛来数は増加するものと思われま。被害の発生には地域や園地間で差があるため、園内で飛来を確認したら防除を実施してください。なお、薬剤散布は夕方に行うと効果的です。



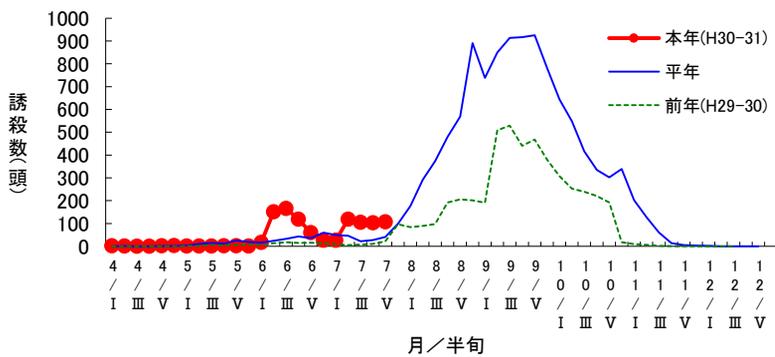
フェロモントラップによるチャバネアオカメムシ誘殺数の推移(岐阜市則松)



予察灯によるチャバネアオカメムシ誘殺数の推移(美濃加茂市山之上町)

コナジラミ類

トマトでは、タバココナジラミは、トマト黄化葉巻病ウイルスを媒介するため、防除を徹底してください。



黄色粘着版によるコナジラミ類誘殺数の推移(海津市日原)



図 タバココナジラミ成虫

6月～8月は

「農薬危害防止期間」です。

農薬の適正な使用、保管管理に努めましょう。農薬を散布する場合は、周辺に栽培されている作物だけでなく、住宅地等へも飛散がないよう、十分に配慮しましょう。

東海地方1カ月予報 (名古屋地方气象台 7月26日発表)

向こう1カ月の気温は高く、降水量は多く、日照時間は平年並の予想です。特に期間の前半は気温の高い状態が続くでしょう。

岐阜県病害虫防除所では、この他に病害虫の詳細な調査データをホームページにて公開しています。

http://www.pref.gifu.lg.jp/sangyo/nogyo/gifu-clean/24321/index_11901.html

〒501-1152 岐阜市又丸729 TEL (058) 239-3161 FAX (058) 234-0767